

(例) 全体計画と年間指導計画の連動性を高めるための考え方

全体計画のポイント

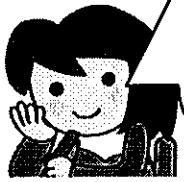
- 1 「自分を大切に、他人を大切に、共に生きていく」という人権尊重の理念を学校ごとに育てたい児童生徒の具体的な姿を描く。
- 2 入学から卒業までの育てたい児童生徒の姿はどの学年も同じでなく違うはず。発達段階を考慮して児童生徒の実態を考え段階的に目標を設定する。
- 3 学習指導要領をもとに教科等の特性を考慮して育てたい児童生徒の姿を実現するために、どの教科等でどのような力を身に付けさせたいのか明確にする。

関連整理表のポイント

- 1 指導内容を縦軸にとり、横軸に学年部を配置して、関連表を構成する。
- 2 縦軸の指導内容は、人権教育で身に付けさせたい力を分析し絞り込み、カテゴリー化した「生命」「自己」「他人」「自己をつなぐコミュニケーション」「社会を合理的に考える」で構成する。
- 3 縦軸の指導内容と横軸の学年部が交差した枠に、何を対象として、どの学年で学習活動を進めるのか、教科等と単元名を記入する。その際、全体計画で示した学年部ごとに重点化した各教科等と身に付けさせたい力を意識して配置し、全体計画との関連付けを図る。



全体計画で育てたい児童生徒の姿や身に付けさせたい力がはっきりしてきたけど、年間指導計画にどう落とし込んでいけばいいの？
年間指導計画は作ったけど、教科書から関係ありそうな内容を並べただけになってしまったわ・・・

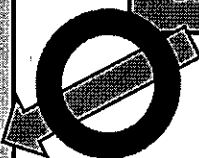


単元系統表のポイント

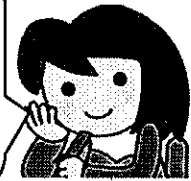
- 1 関連整理表で示した教科等の単元を縦軸にとり、横軸に学部と学年を配置して、単元系統表を構成する。
- 2 教科等の単元ごとに、学部・学年の発達段階の違いによる、単元目標の違いを明確にする。
- 3 生活単元学習のような他教科等を統合したものは、それぞれの教科等の特性に応じた目標の違いを明確にしておく。

年間指導計画のポイント

- 1 4月から3月までの期間で、教科等のねらいを達成しながら、同時に人権教育で身に付けさせたい力を、どの教科の、どの単元で、どのような内容を、どのような順序で計画的に配列するかを示す。
- 2 各教科書のどこに人権教育で身に付けさせたい力と関連が深い記述があるかを記述する。
- 3 人権教育で身に付けさせたい力を効果的に育成するため教科等と教科等の関連付けや、教科等と学校行事を関連付けてプログラム化する。



全体計画と年間指導計画がうまくつながったわ！
これで、授業ですること明確になったし、年間での単元の意義がよくわかるわ！



人権教育 全体計画 ○○特別支援学校

関係法令
日本国憲法 教育基本法 学校教育法 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 学習指導要領 広島県人権教育・啓発指針 広島県人権教育推進プラン

学校教育目標
一人一人の特性に応じた教育を行い、その可能性を最大に伸ばし、社会参加や自立につながる生きる力を育てる。 (育てたい子供像) 知: 学習活動を通して、自ら学び伸びようとする子供。 徳: 人との関わりの中で、他者を尊重する心を持つ子供。 体: 健康で安全に生活できる知識と体力を身に付けた子供。 言語活動: 理解できる言葉を多く持ち、自分の意思を伝えるスキルを身に付けている子供。

児童生徒・地域等の実態
・県北で唯一の知的障害特別支援学校であり就学区域が広い。 ・児童生徒数が増加傾向にあり、それに伴って障害も多様化している。 ・高等部においては、療育手帳B判定の軽度の生徒が増加している。

学部目標		
小学部	中学部	高等部
・日常生活に必要な基本的な生活習慣を身に付ける。 ・学習習慣の定着を図り、意欲的に学ぶ。 ・いろいろな体験学習を通して、人と関わることの大切さを知る。 ・身体を動かす喜びを知り、健康に過ごす。 ・学習活動を通して、多くの言葉にふれ、習得する。	・日常生活に必要な基本的な生活習慣を日常生活の中で生かす。 ・学習活動に積極的に参加する姿勢を養う。 ・人と関わる中で他者を意識して活動する。 ・健康で安全な生活を送り、体力を維持向上させる方法を知る。 ・理解できる言葉を増やし、自分の思いを伝えるために使う。	・豊かな社会生活を送るために必要な基本的な生活習慣を身に付け、様々な場所で活用する。 ・学習活動に主体的に参加し、自立と社会参加への意欲、技能等を身に付ける。 ・自分を大切に、他者を尊重する態度を身に付け実践する。 ・自分の身体と心について知り、生涯にわたって安全で健康に過ごすための方法を身に付ける。 ・理解でき、他者と分かり合い伝え合える言語を増やし活用する。

人権教育の目標		
自分の人権を守り、他者の人権を守ろうとする意識・意欲・態度を育成するために、人権に関する知的理解と人権感覚を高める。		
小学部の目標	中学部の目標	高等部の目標
友だちと一緒に遊び、人に関心をもち、相手にやさしくする活動を体験的に行う中で、人を大切にする気持ちを養う。	人との関わりを大切にし、生徒が自ら考え、主体的に活動する力を養うとともに、他者と協力して活動する態度を養う。	体験活動や新聞等マスメディアによる情報源から、必要な情報を収集し判断するなどの活動を通して、相手の立場や自己の生き方を考えながら、主体的協働的に行動できる力を養う。

校長の方針の下、学校的全教職員による推進体制

各教科・領域等	小学部	中学部	高等部
	【日常生活の指導】 相手を意識して、あいさつをすることに関心をもち。 【生活単元学習】 友だちと共同して単元の活動に取り組む態度を育てる。 【遊びの指導】 人との関わりを大切にし、友だちといろいろな遊びを経験することでコミュニケーションの基礎を養う。	【日常生活の指導】 気持ちのよいあいさつをし、時間を守ることに大切さを理解する。 【生活単元学習】 一人一人の生徒が力を発揮し、主体的に取り組むとともに、集団全体で単元の活動に協力して取り組む態度を育てる。 【作業学習】 自分の役割を理解し、他の生徒と協力して作業活動に取り組むことでコミュニケーション能力を育てる。 【音楽】 音楽についての興味・関心を深めながら生活と音楽の関連を図り、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。 【保健体育】 きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友だちと協力して安全に運動する態度を育てる。	【日常生活の指導】 自分から気持ちのよいあいさつをし、時間やルールを自分で守ろうとする態度を育てる。 【生活単元学習】 生活に必要なルールやマナーについて深く理解するとともに、社会の一員としての高い自覚をもって行動する態度を養う。 【作業学習】 職業生活や社会自立に必要とされるマナーや態度を学び、学習活動においても活用することで他者と協働して作業を行い、コミュニケーション能力を高める。 【国語】 日常生活に必要な国語の理解や表現力をさらに深め、「聞く・話す」「読む」「書く」ことを相手や場面、状況などを踏まえて生活の中で適切に活用する力を育てる。 【数学】 日常生活に必要な数量などに関する理解を深め、分析的に物事を考える力やそれらを実際の生活場面で取り扱い、生活に生かしていく能力と態度を育てる。 【音楽】 表現及び鑑賞の能力を伸ばし、自己選択によって音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育て、生涯を通じて音楽を楽しむ態度を養う。 【美術】 基礎的な造形活動の経験をもとにして、表現及び鑑賞の能力を一層高め、基礎的、発展的な創造活動を充実し豊かな情操を培う。 【保健体育】 きまりやいろいろなスポーツのルールなどを守り、友だちと協力し、進んで安全に運動する態度を育てる。
活動別	集団での活動を通して、友だちと仲良く活動する態度を育てる。	集団での活動を通して、友だちと協力して活動する態度を育てる。	集団活動や話し合い活動を通して、他者と協力して生活上の諸問題を解決し、望ましい人間関係を築く態度や技能等を養う。
総合的な学習の時間		社会と関わる体験活動を通して、自ら考え、主体的に判断する態度を養う。	自然体験活動、国際理解、地域の文化の学習活動を通して、さまざまな情報を収集・活用しながら自ら課題を見つけ、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決しようとする考え方や判断力を身に付ける。
自立活動	個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基礎を培う。		

生徒指導
・生徒指導の3機能(自己決定の場を与える、自己存在感を与える、共感的人間関係を育成する)をすべての教育活動に生かし、生徒の自己指導能力を育成する。

道徳教育
・自他の生命を尊重する精神を養う。 ・自律及び社会連帯の精神を養う。 ・義務を果たし責任を重んじる態度を養う。 ・人権を尊重し差別のないよりよい社会を実現しようとする態度を養う。

キャリア教育
・自己と他者の互いを認め合うことを大切にして行動することが出来る能力を養う。 ・適切なコミュニケーションを図り、豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を築いていくことが出来る能力を養う。

家庭・地域との連携
・学校における人権教育への理解と協力を求める。(PTA活動、授業参観、懇談会、家庭訪問、学校行事、公開授業研究会、就業体験、ホームページ、校種間連携、交流学習、学校評議員会関係者評価委員会等)

【人権教育の基礎】
 児童生徒の人権が尊重されている教育の場としての学校・学級の確立

○[第三次とりまとめ]の理論研修を行い、教職員の人権教育に対する理解を深める。
 ○授業研究を通して、生徒の自己肯定感や自他の尊重といった価値や態度及び能動的な傾聴やコミュニケーションといった技能に対する教職員の指導力の向上を図る。
 ○教職員の人権感覚を高めるために、参加体験型の研修を実施する。

人権教育 全体計画と各教科等における関連整理表 ○○特別支援学校

人権教育指導内容		小学部		中学部		高等部	
		各教科等	単元名等	各教科等	単元名等	各教科等	単元名等
1	生命の尊さ	生活単元学習	保健教育 ・私の体①②③④	生活単元学習	保健教育 ・心と身体の健康	生活単元学習	平和学習 ・平和学習
			平和学習 ・友達と一緒に(平和学習)		平和学習 ・平和学習		
				保健体育	保健分野の、全単元の下記の内容・目標 ・保体(3)	保健体育	保健分野の、全単元の下記の内容・目標 ・保体(3)
2	他人との共生・共感の大切さ	日常生活の指導	重点関連内容・目標を選定 ・生活(4)あいさつ				
		生活単元学習	新入生歓迎 ・入学をお祝いしよう	生活単元学習	新入生歓迎 ・新入生歓迎会	生活単元学習	新入生歓迎 ・新入生歓迎「新入生歓迎会について」
			社会の仕組み ・のびのび探検隊(町の秘密) ・公園へ行く ・宿泊学習に向けて(5年のみ) ・修学旅行に向けて(6年のみ)		社会の仕組み ・私たちの住む町 ・秋の遠足 ・宿泊学習に向けて(2年のみ) ・修学旅行に向けて(3年のみ)		社会の仕組み ・進路学習 ・秋のウォーキング ・宿泊学習に向けて(1年のみ) ・修学旅行に向けて(2年のみ) ・社会のしくみ
		遊びの指導 (うんどう) (おはなし) (おんがく) (ぞうけい)	全単元の下記の内容・目標 ・生活(3)教師や友達と同じ場所で遊ぶ ・生活(5)教師と一緒に集団活動に参加する	作業学習	全単元の下記の内容・目標 ・職・家(4)	作業学習	全単元の下記の内容・目標 ・職(3)
				保健体育	体育分野の、全単元の下記の内容・目標 ・保体(2)	保健体育	体育分野の、全単元の下記の内容・目標 ・保体(2)
				音楽	全単元の以下の内容・目標 ・音楽(3)(4)	音楽	全単元の以下の内容・目標 ・音楽(3)(4)
特別活動	宿泊学習(学校行事) 修学旅行(学校行事)	特別活動	宿泊学習(学校行事) 修学旅行(学校行事)	特別活動	宿泊学習(学校行事) 修学旅行(学校行事)		
3	自己についての肯定的な態度	日常生活の指導	重点関連内容・目標を選定 ・生活(1)身辺処理 ・生活(2)健康で安全な生活	日常生活の指導	重点関連内容・目標を選定 ・国語(2) ・保体(3) ・職・家(7)	日常生活の指導	重点関連内容・目標を選定 ・社会(1) ・保体(3) ・家庭(1)
		生活単元学習	進路学習 ・にこにこパーティーを開こう(1~4年) ・にこにこレストランへようこそ(5,6年)	生活単元学習	進路学習 ・進路学習 ・家庭生活	生活単元学習	進路学習 ・進路学習
			運動会 ・見て見て私の出番です① (運動会)		運動会 ・頑張ろう運動会		運動会 ・運動会
						美術	全単元の以下の内容・目標 ・美術(1)(3)
		特別活動	運動会(学校行事)	特別活動	運動会(学校行事)	特別活動	運動会(学校行事)
4	能動的な傾聴、適切な自己表現等を可能とするコミュニケーション技能	生活単元学習	学習発表会 ・見て見て私の出番です② (にこにこ祭)	生活単元学習	学習発表会 ・学習発表会に向けて	生活単元学習	学習発表会 ・学習発表会に向けて
						国語	自己紹介 話し合いの力 俳句 インタビュー 自分史 あいさつや会話の力
		特別活動	にこにこ祭(学校行事)	特別活動	にこにこ祭(学校行事)	特別活動	にこにこ祭(学校行事)
5	合理的、分析的に思考する技能	生活単元学習	学校の仕組み ・のびのび探検隊	生活単元学習	学校の仕組み ・学校のきまり ・学校のしくみ	生活単元学習	学校の仕組み ・高校生活(1年生)、高校2年生、高校3年生 ・社会のしくみ
						数学	全単元の以下の内容・目標 ・数学(1)
				総合的な学習の時間	自然体験 ・稲作体験①② ・地域 ・地域理解(県北地域) ・国際理解 ・多文化体験	総合的な学習の時間	自然体験 ・自然体験活動① (畑作業等) ・地域 ・地域の文化(県内) ・国際理解 ・国際理解

※生活単元学習、総合的な学習の時間については、単元の最初の目標を人権教育の重点関連目標とする。

※生活単元学習、総合的な学習の時間については、教科名に続く括弧は、特別支援学校(知的障害)学習指導要領の内容を示す。

人権教育 年間指導計画 ○○特別支援学校

学部	学年	教育課程	教科等	年間授業時数
中学部	第 1 学年	単一障害	生活単元学習	245 時間

目標	・学校行事と関連付けた単元や生活上の課題をもとにした単元を通して、集団生活の流れに乗り、一緒に活動したり、分担された役割を果たしたりすることができる。 ・季節や季節の行事と関連付けた単元を通して、身近な生物の特徴、その成長及び活動の様子、自然の事物・現象に関心をもつことができる。			
教科書	A) 国語☆☆☆☆(東書)	B) 数学☆☆☆☆(教出)	C) 音楽☆☆☆☆(東書)	
	D)ことばでひろく絵のせいかいはじめてであう美術館(フレール)	E)改訂新版体験を広げることぞかん9 からだとけんこう(ひかりのくに)	F) いちばんわかりやすい小学生のための学習世界地図帳(成美堂)	
	G)ふしぎをためすかがく図鑑しぜんあそび(フレール)	H)ひとりのできるもん！5すてきなおかし作り(金の星社)	I)あかね書房の学習えほんえいごえほんぞうさんのピクニック(あかね書房)	

月	単元(題材)名	時数	単元(題材)目標	指導内容	教科書	授業形態				理由
						学級	合同	学部	全校	
4	学校のきまり	11	☆学校内にはいろいろなきまりがあることを知り、それらを学校で守ることができる。(社(2)道徳、人権) ・学校のきまりについて、教師など周りの大人の説明や家族、友達の話や話を聞いて、その内容をだまかに理解することができる。(国(1)) ・自分のことについて、見聞きしたことや体験したことなどを、感情や状態、動作を表す言葉を使い、事柄の順序をたどって、およその用件を話すことができる。(国(2)) ・学校生活の流れの学習を通して、1週間、1ヶ月、1年間の関係が分かる。(数(4)) ☆学校の中での役割を理解し、集団生活の流れに乗り、一緒に活動したり、分担された役割を果たしたりすることができる。(社(1)) ・学校生活で扱う電気、洗剤や石けん、食品などについて、用途、使用手順、取扱いを知ることができる。(理(3))	友だちを知る(自己紹介など)	A, B, C, D, F, H	2				
				学校の施設などについて		2				
				学級準備(係、役割決めなど)		4				
				中学部や学校のきまり(生徒会など)		3				
4	作物の栽培①(プチトマトなど)	6	☆野菜の特徴、その成長の様子について、関心をもつことができる。(理(2)道徳、人権) ・野菜の成長について、教師や友達の話や話を聞いて、その内容をだまかに理解することができる。(国(1)) ・簡単な観察日記などの内容を、句読点の使い方、長音、拗音、促音、はつ音、助詞の使い方、漢字や片仮名の使い方などに気をつけて書くことができる。(国(4)) ☆苗や野菜の数の範囲で、1から1,000までの数の範囲で、数字を数えたり書いたりすることができる。(数(1)) ☆収穫した野菜の長さ、単位があることを理解することができる。(数(2)) ・野菜の栽培を通して、身近な自然の事物・現象について関心をもつことができる。(理(4))	作物の栽培計画	A, B, D, G, H, I	1				
				畑の準備		4				
				作物の植え付け		1				
4	新入生歓迎会	4	☆新入生歓迎会を通して、集団生活の流れに乗り、一緒に活動したり、分担された役割を果たしたりすることができる。(社(1)道徳、人権) ・新入生歓迎会に向けて、見聞きしたことや体験したことなどを、感情や状態、動作を表す言葉を使い、事柄の順序をたどって、およその用件を話すことができる。(国(2)) ☆新入生歓迎会のプログラム作りを通して、正方形、長方形、三角形、円などのおよその特徴を分かり、三角定規やコンパスを使って簡単な図形を描くことができる。(数(3)) ・新入生歓迎会の予定確認を通して、1週間、1ヶ月、1年間の関係が分かる。(数(4)) ・春の歌を聴いて、自分の好きな音楽のメロディに関心を向け、ロずさむなどして聴くことができる。(音(1)) ・春の歌を聴いて、音楽の曲想や雰囲気を感じ取り、イメージをつくりながら、自由に身体表現することができる。(音(2)) ・新入生歓迎会に向けた学習を通して、公共施設の名称、場所、働きを知り、利用することができる。(社(3))	事前学習(自己紹介カード作りなど)	A, B, C, D, E, G, H, I	2				
				事後学習		2				